



取締役社長・CEO

蔭塚 正

## 新たな環境経営を目指して

本年2月、地球温暖化問題についての京都議定書が発効し、2006年7月にはEU（欧州連合）が電気製品の環境規制を開始するなど、環境保護に向けた具体的な動きが相次いで出ております。沖電気グループもこのような環境問題に適切に対処するために、効率的で柔軟な環境経営を実現する体制を構築し、取組みを強化しています。

沖電気は2002年度より“ネットワーク型カンパニー経営”を進めております。これは、変化することが当たり前の時代に、ビジネスモデルの異なるカンパニー群が協調しながら柔軟に事業運営を行い、それぞれが効率的で全体として最適な経営を実現するものです。

私たちは2004年度、この考え方を環境経営にも応用し、“ネットワーク型環境経営”をスタートしました。各種の経営資源を重要な環境施策に集中することにより、経営の柔軟性と投資効果を高めています。また、これらの資源と成果をグループ全体で共有するためのネットワークを構築し、効率的に環境施策を実行しています。例えば、製品含有化学物質情報システムと部品情報データベースをグループ全体で共有化する仕組みを整え、製品環境対策において大きな成果をあげています。

2005年度はグループ内に留まらず、お客様やお取引先との間にも環境に関するネットワークを構築し、さらに質の高い環境経営をめざします。

RoHS指令対策に代表される製品の環境対策は、従来より重点課題と認識し、その着実な実施に努めてまいりました。対策を確実に実現するためには、製品を構成する部品・材料を納入いただいている取引先の皆様のご理解とご協力が不可欠となります。今後も取引先の皆様とのネットワークをさらに整備し、お客様に安心してお使いいただける製品を提供していきます。

沖電気グループは環境活動において数多くの成果をあげています。そのなかには、グループ企業以外の皆様にも有効活用いただける環境技術・ノウハウが豊富にあります。それらを環境セミナーや環境ビジネスを通して積極的にお客様にご紹介するとともに、お客様からのご意見をいち早く商品開発へフィードバックするネットワークを構築しています。今後は、お客様の環境活動をご支援するとともに、お客様の声を沖電気グループの環境活動に取入れ、より一層の成果をあげてまいります。

最後に、この報告書が沖電気グループの環境活動とその成果に対するご理解、さらには皆様とのコミュニケーションの一助となれば、幸いに存じます。



2004年度  
沖電気環境経営宣言ポスター